



児童の実態

- ・役割をまじめに行う児童が多い
- ・素直で温和な児童が多い
- ・自分の考えや願いを表現することをためらう傾向がある
- ・「工夫して取り組む力」をさらに高めたい

教師の姿

- ・どの職員も誠実に職務に向かっている
- ・共通理解、共通行動の重要性を理解し指導にあたっている
- ・「導く」「教える」と「委ねる」「考えさせる」とのバランスを考えた指導の充実が課題

指導の構えと6つの重点指導事項

【教師の基本的な指導の構え】 自己有用感を育む指導 ～「ありがとう」のあふれる学校～

- ・意図やねらいを明確にした指導により、児童の「学ぶ意欲」を高める
- ・児童の声に耳を傾け、児童に軸足を置いた指導により、児童の「安心感」を高める
- ・「導くこと」と「委ねること」のバランスをとった指導により、児童の「自主性・主体性」を培う
- ・他者との関わりを意図的に仕組むことにより、児童の「協調性」を培う
- ・児童の活動を精一杯支援することにより、児童の「ねばり強さ」を培う
- ・風通しよく連携して指導することにより、指導の一貫性を図る

<p>今年度の6つの重点指導事項</p> <p>(1) 基礎・基本の確実な定着を図るための授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ①児童が目的意識をもって学ぶ授業 ②児童が考え・工夫する場のある授業 ③ICTを効果的に活用した授業 <p>(2) 児童の自主的・主体的な活動を生み出す指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ④一人一人が活躍できる指導（個・班・学級） ⑤支え合い高まり合える関係を作る指導 ⑥あいさつの充実をめざした指導 	<p>【三指導部会&研究推進】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">重点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研究推進</td> <td>対話的な学びの推進</td> </tr> <tr> <td>学習指導部</td> <td>聞く・話す姿の向上</td> </tr> <tr> <td>生活指導部</td> <td>心のこもったあいさつ</td> </tr> <tr> <td>健康安全指導部</td> <td>楽しく安全なくらし</td> </tr> </tbody> </table>	重点		研究推進	対話的な学びの推進	学習指導部	聞く・話す姿の向上	生活指導部	心のこもったあいさつ	健康安全指導部	楽しく安全なくらし
重点											
研究推進	対話的な学びの推進										
学習指導部	聞く・話す姿の向上										
生活指導部	心のこもったあいさつ										
健康安全指導部	楽しく安全なくらし										

6つの指導事項を支える基盤

- (1) 児童の安全安心な生活を保障するための危機意識をもった指導に努める
 - ・「初動が大切」の意識をもち早期対応を心がける
 - ・「いじめ防止対策基本方針」に則った指導をする
- (2) インクルーシブ教育の視点を大切にした指導に努める
 - ・誰もが健やかに成長できるよう個に応じた指導を行う
 - ・「個別の支援計画」を活用した意図的・継続的な指導を行う
- (3) 教育相談力の向上に努める。
 - ・定期的な調査と日常の教育相談により、「こころの健康」状況の把握に努める。
 - ・教育相談員、SC、S相、SSWなどと連携し組織的に指導・支援を行う
- (4) 家庭・地域との連携を進め、みんなで子どもを育てる環境作りに努める
 - ・PTA、学校運営協議会との連携により社会性・道徳性を高める
 - ・地域の人から学ぶ、地域を学ぶことにより地域への愛着をもつ指導を行う
- (5) 児童の笑顔とやる気は職員の健康と笑顔により生まれるとの立場で指導に努める
 - ・職員の勤務時間の適正化を図る
 - ・教職員一人一人の持ち味を發揮できる環境を作る